

平成23年度 事業活動報告書

平成23年 1月 1日 から 平成23年12月31日 まで

認定特定非営利活動法人 江戸城再建を目指す会

1. 事業の成果

平成23年度は、前年度に引き続き、当会の“草の根運動”の趣旨を広く世間一般の各界、各層に広げ、深化する第3段階にあった。一貫する最大の課題は、① 会員拡大と組織の活性化、②財務基盤の強化、③事務局体制強化の3点であったが、国難とも言える3・11大震災によって、3月以降約半年間は、新会員募集や寄付金募金など、当会本来の活動も停滞を余儀なくされたことは否めない。しかし、一方で、次の3点が特筆すべき成果だったと考える。

① 江戸城天守の再建は、この国の将来に夢と希望を与える日本再生のシンボルになる。

3・11大震災によって、「いま何故、江戸城再建か」を自らに問い直した結果、改めて、江戸城再建こそ、日本の伝統と文化に根差した「日本の復興、再生」と新しい国づくりのシンボルになり得るという想いを新たにした。それによって、当会の果たすべき使命と役割を自ら再確認することが出来たと考える。

② 嘗てない税制上の優遇措置を得られる、認定NPO法人の資格を取得した。

難関中の難関といわれる国税庁長官認定の「認定NPO法人」の資格を取得した。（寄付金に対する嘗てない税制上の優遇措置を得られることになった。認定期間は平成23年4月16日から5年間。）これを契機に、改めて、組織の基盤整備を進めることが出来た。

③ 千代田区など地域の各界、各層に、江戸城再建運動の趣旨と賛同、支持を訴える第一歩を踏み出した。

千代田区の110町内会長を2度に亘り戸別訪問し、千代田区大手門前でのピラマキを計24回に亘って実施。まちみらい千代田や千代田区商工業連合会などの行事に参加し、また、神田明神の江戸城天守・段ボール模型奉納式に参列するなど、千代田区など各地域の各界、各層に、江戸城再建運動の趣旨と賛同、支持を訴える、3カ年計画初年度の“種まき”としては、確実な一歩を踏み出した。

.....

この三つの事業・組織テーマへの新たなチャレンジを契機にして、更なる公益性への寄与を目指して、質的転換を図る取り組みがより進みつつある。それによって当会が、規律と品位と活力に満ちた、“オンリー・ワン”のNPO法人として、新たな地平を切り拓いた着実な一年となった。主な事業活動の取り組みは、以下の通り。

<定款に関わらない、その他事業の実施>

定款に関わる事業の実施については、別項の通りであるが、定款事項として記載されない、次の2課題について、以下、特記する。

① 会員拡大：

2年越しの目標として来た会員総数3,000名には遠く及ばず、12月末で、総数2,376名に止まった。理由は、3・11大震災の影響が少なからずあったとは云え、従来の理事を中心とした会員拡大が限界に近付いていることも否定できない。その為、会員拡大を進める為の「会員の集い」等の試みを行ったが、心ある有志会員が進んで会員拡大運動に参加し活動の輪が大きく拡がるころまでは至らなかった。今後は、1人の会員から子供や孫が生まれる・・・云わば、ファミリー・ツリーの基となるデータベースの仕組みづくりを進めつつ、それらの積極的な活用を図り、目標管理に基づく日常活動を推進していく。

② 事務局体制の確立：

ITを含む仕事の流れや仕組みの抜本改革を進め、事務局体制の基盤づくりに取り組んで来た。データベースの再構築、情報公開の準備等、成果は着実に実りつつあるが、事業の拡大と深化に伴う業務の加増や複雑化また、認定資格に求められる業務の質的転換を図ること、専任者の確保、中核的人材やボランティアの育成等の課題も多い。

<定款に定められた事業活動の内容>

① 再建江戸城の規模・様式、実施方法等、その具体化のための調査・検討

2～4階内観図のCG制作を行い、2月23日に三浦正幸教授の特別講演会で発表した。また、再建する寛永度天守は木造復元建築とすることを総会で決議した。

② 再建江戸城の有効活用のため、江戸の文化、歴史及び観光等への情報収集、調査・研究事業

三浦正幸教授の講演「江戸城寛永度天守の魅力と実像」から、江戸城再建の今日的意義を深めた。

③ 再建の意義・必要性及びその実現方法等の広報宣伝事業

かわら版を年5回発行し、マスコミ、千代田区諸団体、提携・交流団体にも配布した。HPについてはかわら版やイベント・セミナー、マスコミ記事を掲載し広く社会一般に広報した。また会員申込ページの創設や、イベント告知等のデータ更新を行ったが、交流の広場、ブログの充実、更新のスピードアップなどについては、今後の課題となった。

④ 江戸城再建の実現に向けた世論喚起のためのシンポジウム・イベント事業

「黒田涼氏と江戸城社を歩く」シリーズは定着しつつある。また、神田明神への江戸城模型奉納式では、マスコミ各社の取材があり、PRに一役を果たした。一方、会員が運営企画段階から参加するイベントや、江戸文化を学ぶシリーズ的なイベント・セミナーの開催は今後の課題となった。

⑤ 江戸城再建に関わる各種団体・機関と連携をする事業

3カ年計画の初年度として、千代田区など地域の各町内会を訪問し、かわら版をお届けして当会の活動をお知らせした。また、大手門前で24回、累計5,500枚以上のチラシ配布を行った。地域との連携は、第一歩を踏み出し、その効果は静かに深まりつつあるが、地域住民への認知度の浸透という意味では未だ不十分であり、今後の課題となった。

2. 事業の実施に関する事項:

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者範囲・人数(人)	支出額(千円)
①再建江戸城の具体化のための調査・検討 「築城プラン」推進	江戸城寛永度天守の2階から4階部分のCGを策定し、2.23 三浦正幸教授講演会、江戸城寛永度天守CG発表(パート2)『江戸城寛永度天守の魅力と実像』にて発表した	通 年	広島 事務所 江戸東京博物館	5	不特定多数	2,035
②江戸の文化、歴史観光等への情報収集、調査・研究	『江戸城寛永度天守の魅力と実像』を通し江戸城再建の今日的意義について研究を進めた	通 年	広島 事務所等	3	不特定多数	526
③意義・必要性・実現方法等の広報宣伝 かわら版の発行 ホームページの充実	会報「江戸城かわら版」を年4回、号外を1回発行(1、3、6、8、11月)した HPの入会申込フォームを改訂し、入会手続きの簡略化を実現するとともに、入会動機の調査アンケート機能も追加するなど機能の充実をはかった	通 年	事務所等	15 4	不特定多数	4,396
④世論喚起のためのシンポジウム・イベント事業	「黒田涼氏と江戸城址を歩く」を4回開催した サツキ奉行所コース 江戸城ウオーク懇親会 江戸城一周コース 大名屋敷コース 講演会を開催「家康のルーツ」 「江戸総鎮守神田明神を訪ねて」 2.23 三浦正幸教授講演会 江戸城寛永度天守CG発表(パート2)『江戸城寛永度天守の魅力と実像』を開催した	5月 8月 10月 11月 6月 9月 2月	都内 神保町区民館 江戸東京博物館	7 5 30 7	10 40 18 25 11 36 148 不特定多数	1,396
⑤江戸城再建に関わる各種団体・機関と連携をする事業	千代田区会員の集いを開催した 千代田区をはじめとする諸団体や地域住民の方々との連携や交流を進めた イベント開催時千代田区等の後援をいただいた	9月 通年	須田町北部会館 千代田区内等	7 5	18 不特定多数	747

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者範囲・人数(人)	支出額(千円)
該当なし						